

# 整備効果② 地域産業の活性化

- ・京都府は茶葉の生産地として有名で、おおい茶においては全国1位(平成28年)の生産量を誇っています。
- ・京都府内で生産される茶葉は、城陽市にある京都茶市場へ出荷され、卸業者等により一般市場へ流通。城陽～八幡京田辺間の開通により出荷～流通の速達性が高まることが期待されます。

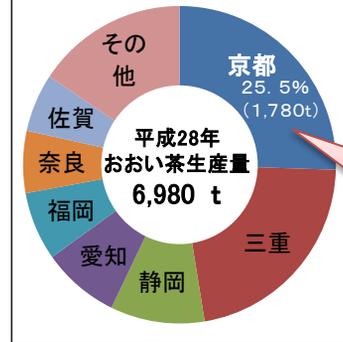


毎年春先に農家から出荷される一番茶は出荷時期により、価格に影響があります。当市場は京都府域全域の茶葉を取扱っており、京都北部方面からも出荷があります。  
新名神の城陽～八幡京田辺間が開通すると茶市場までの時間が短縮されることで、市場からの流通も早くなることが期待されます。



出典：全国農業協同組合連合会ヒアリング

H28年 おおい茶生産量



おおい茶  
生産量  
全国1位  
(H28年)

出典：農林水産統計より作成

- ・地域活性化として地域林業と連携し、新たな環境への貢献を目指して、これまで使われなかった未利用間伐材を価値ある資源として活用しています。
- ・加工場、販売拠点まで高速道路での運送が可能となり、将来的には更に利便性が向上し、増産、販路拡大が期待されます。



未利用間伐材(枝・葉・皮・竹)を活用し、環境に配慮した輸送用パレットの製造・販売をしています。

新名神(城陽～八幡京田辺)が開通すると一次加工～二次加工・販売拠点まで高速道路での運送が可能になります。

また今後の開通も見据えると東西南北の交通の要衝として非常に利便性が向上すると考えており、今後の増産、販路拡大、新たな生産拠点の選定において高速道路網は欠かせないインフラです。



出典：企業ヒアリング  
(エースジャパン(株))

輸送用パレット  
"Kyo Pallet"

新たに拠点を整備予定  
二次加工・販売拠点  
(製造・販売の拡大)

